

環境学習みえ

2016年3月／三重県環境学習情報センター（四日市市桜町3684-11）年4回発行

表紙の人／左上：出口省吾さん（いなべ市立大安中学校 教諭）・ほか：「いなべ市立大安中学校テクニカルボランティア部」部員のみなさん 2016 No.64

春



間伐材ベンチで森のことなどを伝えよう
～環境を大切にする心と行動力を育む『こどもエコクラブ』～

間伐材ベンチで森のことを伝えよう ～環境を大切にする心と行動力を育む『こどもエコクラブ』～



三重県における『こどもエコクラブ(公財 日本環境協会)』の登録数は、現在62クラブです。そのなかで平成26年に三重県代表として全国フェスティバルに参加した『いなべ市立大安中学校 テクニカルボランティア部』のみなさんの活動をご紹介します。間伐材の有効利用や環境保全の大切さを地域社会に発信する活動は、さまざまな分野で評価されています。

『いなべ市立大安中学校 テクニカルボランティア部』



製品作りのテクニック(技術)を身につけ、それを活かして地域や社会にボランティアしようという目的で活動しています。自然や森林についての環境学習にも取り組んでいます。

【お話を伺った人】



「大安中学校テクニカルボランティア部」
顧問 でぐち しょくご
サポーター 出口 省吾 先生

出口先生は理科教諭で、平成10年4月にテクニカルボランティア部を発足し、顧問を務めました。その後、他校へ異動しましたが、平成26年に大安中学校に赴任し、再び顧問を務めています。

環境学習にも熱心に取り組む先生で、「森林インストラクター」、「自然観察指導員」、「環境カウンセラー」などの資格を持っています。

『こどもエコクラブ』を作りに励んでいます。どれも立派な出来映えで、とても丈夫に作られています。製品は一般に販売していて、その収益金はアジアの水に恵まれない国に井戸を建設する費用として寄付しています。平成26年度には、こうした活動をもとに部員が作った壁新聞が全国審査で『こどもエコクラブ』の三重県代表に選ばれ、東京で開催された全国フェスティバルに参加し

ました。間伐材を利用した環境保全活動が高く評価され、全国から集まった壁新聞のなかから『こどもエコクラブ大賞』を決める予選を通過し、上位6グループに入っています。

そこで今回は『テクニカルボランティア部』の活動について、部員のみなさんと顧問の出口先生にお話を伺いました。また全国で環境活動をする仲間が集まる『こどもエコクラブ』の事業についてもご紹介します。

全国フェスティバルへ参加



平成26年度 全国フェスティバル三重県代表の壁新聞

木が生まれ変わる

「昔の人が植え育ててきたスギやヒノキなどの人工林をこのまま放つておくのはもったいない！」と感じていた出口先生は、部員たちとともに地域の間伐材を利用した製品作りにこだわっています。学校近くの雑木林や出口先生が所有する山林などへ出掛けで、自分たちで間伐することもあります。3年生にもなると巧みにチェンソーを使いこなして、大きな木も倒していきます。

また木を切る作業ひとつでも、木の特徴や性質の違いを学ぶことができます。例えば、キリやクロバイなどは柔らかく、ヒサカキやケヤキなどは堅いというようすに木に触れる体験から教わることがたくさんあります。



パーツを組み立てていきます。



スギのXベンチ

物作りは考えることが大事！

使ってくれる人のために、心をこめて丁寧に作っています！

最初は
道具を使うのが
怖かったけど…

自然の木目を生かすため
最後に透明塗料を
塗って仕上げます。



電気カンナで樹皮を削ります。
部員たちは練習を重ねて、上手に道具を使いこなすようになります。



完成！

ベンチは2~7千円ほどで販売しています。購入者からは「国産材を使っているのに、こんなに安いなんて！」と喜ばれています。

怪我をしないように
作業は集中！



各パートが完成！



伐採した木材は、
約2年ほど乾燥させます。



スギの丸太から
Xベンチを作ります！



チェンソーで丸太を伐ります。
なかにはマイチェンソーを持つ部員もいます！

販売会のお知らせ

平成28年

日時 4月16日 土 9:00~12:00

会場 いなべ市立大安中学校 旧校舎 木工室

スギやヒノキのベンチ、椅子などの木工製品を販売します。どなたでも購入することができます。数に限りがありますので完売になりました次第、終了となります。ご了承ください。

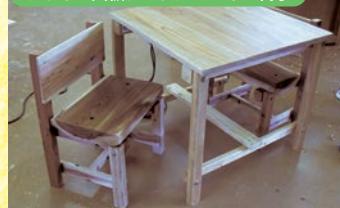


～昨年度の作品～

ヒノキの背もたれ付ベンチ



ケヤキの天板テーブル＆スギの椅子



世界の困っている人を助けたい



①②平成15年、カンボジアのタケオ州バレイ村に建設した井戸。井戸には「大安中学校テクニカルボランティア部」の名前が入っています。

写真提供:(公社)アジア協会アジア友の会(JAFS)

③ボランティア活動で優れた成果を挙げたとして、(公財)修養団主催の平成26年度「SYDボランティア奨励賞」で最高賞の文部科学大臣賞を受賞。

一年間で部員が作った製品の数は75作品になりました。平成27年3月に開かれた販売会では約20万円の収益金が集まりました。この収益金は井戸を建設するための資金としてフィリピンのアンティーケ州に寄付しました。これまでに(公社)アジア協会アジア友の会(JAFS)を通して、カンボジアやスリランカ、ネパール、バングラデシュへも寄付をしており、建設された井戸は今回で7基目になります。

現地から送られてきた子どもたちの喜ぶ写真を見ると、また来年も物作りを頑張ろうという気持ちになります。部員たちにとつて困っている人が救われることが、活動の原動力になつているのです。そして改めて“水”の大切さに気づき、安全な水や食料を得られることに感謝できるようになりました。

現地から送られてきた子どもたちの喜ぶ写真を見ると、また来年も物作りを頑張ろうという気持ちになります。部員たちにとつて困っている人が救われることが、活動の原動力になつているのです。そして改めて“水”の大切さに気づき、安全な水や食料を得られることに感謝できるようになりました。

亞洲の發展途上国に寄付することになったのは、学校での総合的な学習がきっかけでした。世界には水を得るために困っている人がいるという現状を知った当時の部員が、「自分たちの作った木工製品を販売して、そのお金を寄付しよう」と決めました。

題について調べた部員もいました。

間伐とは、暗い林の中では木の成長がお

どろえてしまったために、木を間引く(間伐)ことです。木と木の間隔を空けて林の中や地表付近に日光が届くようにします。人の手で植え育ててきた人工林はこうした手入れをする必要があります。間伐した木は木材として有効に利用しながら、明るくなつた林の中では残した木の成長を促すのです。

はじめは「木を伐ることは森林破壊なのでは?」と思っていた部員も、学習を通して間伐の必要性を理解して取り組んでいます。

また、大安中学校では間伐材を使つた『全校木太鼓演奏』というアトラクションがあります。

演奏は和太鼓のほかに自作の木太鼓を使います。これは当時の部員が間伐丸太200本を山林から伐り出し、雑木や間伐材の枝でバチ1千200本ほどを作りました。体育祭でのアトラクションは平成10年から始まり、

今では大安中学校の伝統になっています。なかには間伐などの“森林問

間伐の必要性を知る

部活の時間には製品作りだけではなく、自分が調べたことを発表する

『学習会』を開くこともあります。“口

グハウス”や”危険な生物”など、それ

ぞれが関心のあるテーマについて発表しました。部室には森林関係や環境に

関する資料、書籍が並んでいて、自主的に調べができるようになつて

います。なかには間伐などの“森林問

ごみゼロ実行

作業の時に出る木くずや廃材は、できるだけ再利用するように心がけ

ています。物作りを通して、物を大切にする心や、何でも利用していくこう

という発想力が養われていきます。

木くずは雑草を生えにくくするた

め地面に厚くまいたり、生ごみに混

ぜて堆肥として使つたりしています。

廃材は薪ストーブの燃料になるので、譲つてほしいという地域の人々にさし上げています。

「木はごみにならない」と出口先生が話す通り、最後まで無駄なく有効に使い”ごみゼロの実行”に取り組んでいます。



①②『学習会』では、調べたことをポスターにまとめて発表しました。



③体育祭での『全校木太鼓演奏』



「こどもエコクラブ」

「大安中学校テクニカルボランティア部」が登録している「こどもエコクラブ」についてご紹介します！

三重県では、62 クラブ、サポートー392人、メンバー13,160人の合計13,552人（平成 28 年 2 月末現在）の仲間が環境活動をがんばっています。



「こどもエコクラブ」とは

こどもエコクラブは、幼稚（3歳）から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。メンバー1人とサポートーが1人いれば、いつでも登録できます。子どもたちの地域での自主的な環境活動を通して、環境を大切にする心と行動力を育むことや活動の環を広げることを目的としています。



こどもエコクラブに登録すると

こどもエコクラブの証「メンバーズバッジ」と「メンバー手帳」がもらえます。手帳には活動の予定を書いたり、活動の記録を残したりすることができます。

何を活動したらいいか悩んだときは、まずは「おもしろそう」と感じた身近なことから始めてみましょう。企業や自治体の環境イベントへの参加、地域のごみ拾いや、自然観察、家庭での省エネなど、どんなことでもOKです。



三重県では年に一度、県内交流会を開催して活動発表をしたり、他のクラブとの交流を図ったりしています。



登録は三重県環境学習情報センターへ！

こどもエコクラブ三重県事務局▶登録はこちら！
三重県環境学習情報センター「三重県こどもエコクラブ」
<http://www.eco-mie.com/kodomo/index.html>

こどもエコクラブ全国事務局▶
さまざまな環境学習プログラムや環境イベントの情報を見たり、ダウンロードしたりすることができます！
(公財)日本環境協会「こどもエコクラブ」
<http://www.j-ecoclub.jp/>

環境学習指導者養成スキルアップ講座
「体験！森の健康診断」

日 時 5月8日(日) 10:00~16:00 ※雨天中止

身近なグッズを使った簡単な方法で人工林内の植生・植栽木の混み具合調査を行い、林内の植物を増やす効果的な管理計画を考えるのが「森の健康診断」です。

「森の健康診断」を体験し、森林の状態を把握することや、これからの森林創りに活用していただきたいと思います。

会 場 松阪市森林公園の近くの人工林

集合場所 松阪市森林公園駐車場付近（松阪市伊勢寺町安若1678）

講 師 森の健康診断出前隊数名
(小西伴尚氏(学校法人梅村学園三重中学校・高等学校教諭)など)

対 象 18歳以上 募集期間 3月28日(月)～先着順で受付

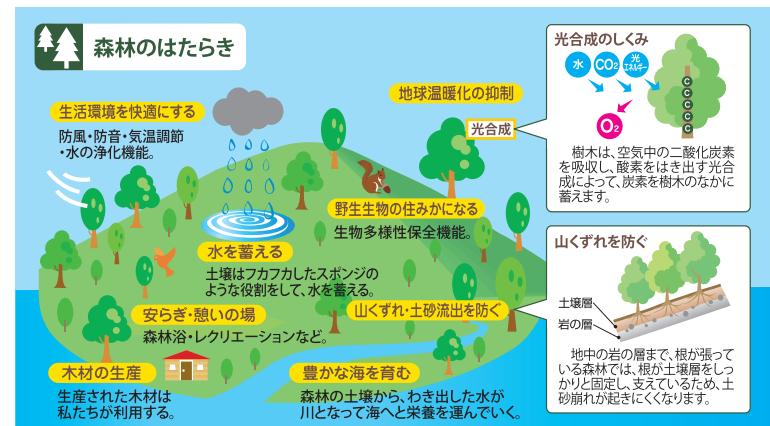
お申込み・お問合せ 三重県環境学習情報センター

豊かな森林が地域の資源に

森林には木材を生産するだけでなく、山くずれなどの自然災害を防いだり、地球温暖化を抑制したりする多様なはたらきがあります。間伐など適正な管理を続けることは森林のはたらきを維持していくことにつながっています。

『テクニカルボランティア部』では、活動を通して自然や森林についての環境学習や、身近にできるリユースやリサイクルに挑戦しています。

出口先生「森林やごみ問題、国際理解など、どれも大事なことだということを部員のみんなにわかつてもらえたと 思います。そしてそのことを人へ伝えていってほしいです。」



部員の手で木工製品に生まれ変わった伐材によって、学校をはじめ地域全体で伐材の資源としての価値が見直されていました。さらに活動が広まるにつれて地域の人々が間伐材や廃材などを提供してくれるようになりました。『テクニカルボランティア部』の活動は森林を価値ある地域の資源として活用することで、豊かな森林を育み、持続可能な循環型社会の実現を目指しています。

環境への興味を広げる 『こどもエコクラブ』

『こどもエコクラブ』は学校だけでは学ぶことのできないさまざまな「環境問題」について

いて学び、子どもたちの環境を大切にする心と行動力を育みます。出口先生は『こどもエコクラブ』に登録して「活動を全国の人に知つてもらおう、間伐の必要性や環境保全の大切さを発信することができてよかったです」と話してくれました。

環境活動を通して、たくさんのがんばりがつながり、活動の環を広げることができるのも『こどもエコクラブ』の魅力のひとつです。みなさんも家庭や学校、地域などでクラブをつくって一緒に活動してみませんか？

写真提供 いなべ市立大安中学校出口省吾先生

環境学習推進員の
脇谷奈美が
担当しました!

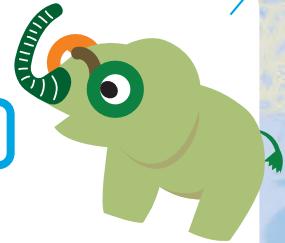


活動レポートVol.13

環境・体験講座のようすを
紹介するゾウ!

松阪市リサイクルセンター 指導者養成「買い物ゲーム」

平成28年 1月22日(金)・29日(金)



三重県の人が1人1日に
出すごみの重さは?

- ①約600グラム
- ②約1,000グラム
- ③約2,000グラム

正解は、②約1,000グラム
1人1日あたりのごみの排出量は平成25年度の実績は986グラムとなっています。



講座の目的、運営方法、
必要な備品などについて
お話をしました。



子どもたちに楽しんで
学んでもらえるようにと、
丁寧に備品を作っています。



センターでも、県内各地への出前でも、
どちらでも開催可能です!

社会見学の時に、あるいは学校の授業、市民団体の学習会、公民館の講座、企業の環境学習に「環境・体験講座」をご利用ください。

指導者養成「買い物ゲーム」

時間 4時間程度 人数 10人以上
対象 18歳以上

環境・体験講座

水質チェック、買い物ゲーム、大気調査講座、ごみ・リサイクル講座、地球温暖化と省エネルギー講座、ふろしき活用講座、紙すき体験、自然体験(自然観察、バードウォッチング、水生生物調査)、天文講座、エコソング「うたおう&おどろう」など

◎講座の内容や対象については、環境学習情報センター Tel (059)329-2000までお問い合わせください。お申込みは原則、希望日の1か月前までにお願いします。

『買い物ゲーム』は、模擬スーパーでケットでの買い物を通してごみについて考える体験講座です。今回この『買い物ゲーム』を受講するのは、松阪市でごみ減量を進めていくため、環境学習の実施や啓発活動等を行っている松阪市3Rサポートーのみなさまです。今後、松阪市3Rサポートーのみなさまが、学校などで子どもたちに向けて『買い物ゲーム』の運営ができるようになることを目的に講座を行いました。

最初に『買い物ゲーム』を体験しても、買い物によって発生するごみとその処理費を減らすことの必要性について理解を深めていただきました。

その後は、講座に必要な備品作りで実施しました。スーパーマーケットの商品になる野菜やお肉などをはさみで切つたり厚紙にはつたりして作っていきます。細かい作業ばかりですが「自分たちで作ると楽しい」と、和やかな雰囲気の中、手際よく備品を仕上げていきました。

『買い物ゲーム』を学校の授業や公民館などの講座として企画・運営をしたい団体に向けて指導者養成講座を行っています。ぜひご活用ください。

【報告 環境学習推進員 脇谷奈美】

いて理解を深めていただきました。

また、今までに講座を体験した子どもたちの様子や感想などを交えながら、どのように講座を進めていったらよいかお話をしました。

その後は、講座に必要な備品作りで実施しました。スーパーマーケットの商品になる野菜やお肉などをはさみで切つたり厚紙にはつたりして作っていきます。細かい作業ばかりですが「自分たちで作ると楽しい」と、和やかな雰囲気の中、手際よく備品を仕上げていきました。

参加した方から「買い物ゲームは、ごみを減らすことだけなく色々な環境問題について伝えられるのでは」との意見があり、今後の3Rサポートー会議のなかで、講座の運営方法について話し合ったのです。松阪市版『買い物ゲーム』がどんな形になるのかとても楽しみです。三重県環境学習情報センターは、今後も松阪市3Rサポートーのみなさまの活動をサポートしていくります!



はみだしNEWS: メルマガ登録者をE-mailで募集中。氏名(ふりがな)、mailアドレスを明記し、info@eco-mie.comまで送信してください。

センターへ遊びに来てね!

三重県環境学習情報センターにて開催する、年間を通して楽しめる催し物をご紹介します♪

平成28年度「あそべるたいむ」 参加無料／申込不要

自然素材や身近な材料を工夫して、楽しくあそべる工作や季節の飾りを作ります。

日時:毎月第2日曜日13:30~15:30

対象:どなたでも 人数:先着30人

開催予定

※内容は変更する場合もございます

4月10日(日)「ふしぎなカード」

5月8日(日)「紙コプター」

6月12日(日)「竹の輪のけん玉」

7月10日(日)「ジャンピングカエル」

8月14日(日)「ストローひこうき」

9月11日(日)「折り紙手裏剣」

10月9日(日)「木の実つり」

11月13日(日)「くるくるメリー」

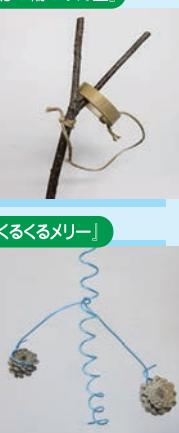
12月11日(日)「松ぼっくりツリー」

1月8日(日)「どんぐりゴマ」

2月12日(日)「木の実でつくるおひなさま」

3月12日(日)「トイレットペーパー楽器」

『竹の輪のけん玉』



『くるくるメリー』



企画展示

開館時間内 観覧無料

4月から企画展示コーナーが新しくなります!自然素材を利用した作品や、環境活動などを紹介する見ごたえのある展示を2ヶ月ごとに企画します。ぜひご覧ください。

4・5月

環境工房講師による

木のブローチ&季節の押し花作品展

小さな木彫屋さん 芝田 美智子氏

ふしぎな花俱楽部 高村 晴代氏

ものづくりから環境を考える講座「環境工房」の講師による、木のブローチと春の草花を使った押し花の作品展示です。



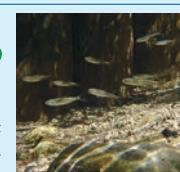
6・7月

生きものチャンネル

水中から四日市の川を見てみよう

なたね通信

川で水中撮影した映像の上映と写真のパネル展示をします。四日市市内の川で暮らすたくさんの生きものを見よう。



来館者向けスタンプカードをはじめます!

4月より三重県環境学習情報センターに来館いただいた方に「ポイントカード」をお渡しします。1回の来館ごとにスタンプを1個差し上げます。5個集めたらプレゼントがありますよ!さあ、何がもらえるかな?楽しみに集めてくださいね。ポイントカードの発行とポイントの押印は、センター窓口にて行います♪



*イメージです

今月の企画展示



12月 三重県こどもエコクラブ事務局

幼児(3歳)から高校生までなら誰でも参加できる「こどもエコクラブ」。三重県では、62クラブ約13,000人の子どもたちが各地で活動しています!展示では、各クラブの活動を紹介しました。

1月 三重県環境学習情報センター 情報誌「環境学習みえ」

環境学習情報センターが季刊発行する情報誌「環境学習みえ」の2012年春号～2015年冬号までを展示しました。県内のさまざまなフィールドで環境活動される「人」を特集しています。



2月 なたね通信

センター周辺の自然や、四日市市などで見られる生きものを動画とパネルで紹介していただきました。生きものの動画は、間近で見ると迫力があり、じっくり観察することができました。



3月 NPO法人 鈴鹿循環共生パーティー 楽しいエネルギー研究会

展示では、ソーラーパネルのエネルギーで光る「ソーラー竹ランプ」作りなどの活動を紹介していただきました。エネルギーを上手に使う方法をみなさんも考えてみませんか。



みなさんの環境学習・活動を応援します!

環境学習サポート制度

何か活動を始めてみたいと考えている方、すでに地域で環境学習指導や環境活動を行っている方々の活動を応援します!

センターが主催する18歳以上向けの講座を受講するとポイントが貯まり、そのポイント数に応じて図書カードを差し上げます。また、イベントや講座のお手伝いを通して、ポイントを貯めながら環境学習のスキルアップを目指していただけます。

こんなお手伝いしませんか

・講座のお手伝い…センターが主催する講座の当日の準備や受付、講座補助など。

・イベントのお手伝い…春・夏・秋に開催するイベントでセンターブースのお手伝いなど。

*お手伝いいただく場合に日当・交通費・食費等は支給いたします。

登録をするとご案内を送付します!

いつ、どこで、どのような内容で参加者を募集するかは、隨時お知らせします。参加を希望される方は、三重県環境学習情報センターまでご連絡ください。(登録無料)

「環境学習サポート制度」

<http://www.eco-mie.com/intro/support/index.html>

講座NEWS

詳細・お申込み方法については、ホームページ・チラシをご覧ください

PICK UP 環境リーダーを養成する講座がお近くで開催できます

学校の先生の場合

2~3時間の研修にご利用ください。

地域NPOの場合

メンバーのレベルアップにご利用ください。

自治体の場合

市町での環境活動を増やすキッカケ作りにご利用ください。

主催講座を出前講座としても実施できます。詳しくはお電話ください

環境学習指導者養成講座 環境基礎講座

- ①6月18日(土) ②26日(日) ③7月2日(土) ④8月21日(日)
 ⑤28日(日) ⑥9月17日(土) 全6回 開催

会場	④以外:三重県立鈴鹿青少年センター（鈴鹿市）	締切	5月25日(水)
会場	④:四日市公害と環境未来館（四日市市）		
環境をいろいろな視点から考え、幅広く環境について学習します。			

環境学習指導者養成講座 もったいない名人養成講座

- ①6月26日(日) ②7月31日(日) ③8月7日(日) 開催

会場	①:三重県立鈴鹿青少年センター（鈴鹿市）	締切	5月25日(水)
会場	②③:三重県環境学習情報センター（四日市市）		
「ごみゼロ社会」の実現のため、3Rやリサイクルなどについて『紙すき体験』を通して伝える指導者(もったいない名人)を養成します。			

環境講座 春のバードウォッチング

5月1日(日) 開催 ①6:30~8:00 ②9:00~11:30

会場	三重県上野森林公園（伊賀市）	期申 間込	4月1日(金)~ 4月30日(土)先着順
上野森林公園の中を歩いて、野鳥を観察します。野鳥の説明も行うので、初めての方でもお気軽にどうぞ。双眼鏡の貸出も行います。①・②どちらかだけの申込みも可能。			

環境講座 ヒヌマイトンボ観察会

6月25日(土) 開催

会場	宮川浄化センター（伊勢市）	締切	5月25日(水)
絶滅危惧種ヒヌマイトンボの生息地保全についてお話を聞いた後、敷地内でヒヌマイトンボの観察を行います。※小雨決行			

スキルアップ講座 体験！森の健康診断

5月8日(日) 開催

会場	松阪市森林公園（松阪市）	期申 間込	3月28日(月)~ 4月26日(火)先着順
人工林の混み具合を実際に測定して健全な状態かどうかを調べ、人工林の手入れの必要性や良好な状態について考えます。			

スキルアップ講座 驚きのクモの世界～野外観察編～

5月28日(土) 開催

会場	三重県総合博物館（津市）	締切	5月2日(月)
屋外でのクモの採集・観察を通して、クモの名前や興味深い生態、採集の仕方や種の同定のポイントなどについて学びます。			

スキルアップ講座 生態学シリーズ「動物の行動」

①6月11日(土) ②9月10日(土) ③12月3日(土) ④2月4日(土) 全4回 開催

会場	三重県総合博物館（津市）	※予定	締切	① 5月10日(火)
会場	④のみ三重県総合文化センター（津市）		締切	※②③④はチラシ参照
①古典的な動物行動学 ②母と子 ③利他行動 ④オスとメス 生態学の内容をわかりやすくお話ししていただきます。				

スキルアップ講座 環境は資源～海女漁業から環境を考える～

8月20日(土) 開催

会場	三重県総合文化センター（津市）	締切	7月19日(火)
海女漁業や海の環境についてのお話を通じて、持続可能な産業や生活、海の自然環境を保全することの大切さについて理解を深めます。			

講座**開催時期****講座・イベント****開催時期**

環境学習指導者養成講座 自然観察指導員講習会	9月3日(土) ~4日(日)	環境工房	秋~冬に開催
イベント キッズエコフェア（春・秋）	春:4月23・24日(土・日) 秋:9月24・25日(土・日)	イベント Mieこどもエコフェア	7月23・24日 (土・日)
環境学習指導者養成講座 野鳥案内人講座（仮称）	秋~春に開催	環境講座 冬のバードウォッチング（仮称）	1月15日(日)
環境学習指導者養成講座 みえ星空環境案内人養成講座	冬に開催	環境学習リーダー養成講座 環境学習リーダー養成講座	冬に開催

三重県環境学習情報センター

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11

Tel	(059) 329-2000
Fax	(059) 329-2909
Mail	info@eco-mie.com
HP	http://www.eco-mie.com
休館日	年末年始（12月29日～1月3日）
開館時間	午前9時～午後5時30分
入館料	無料 ※お気軽にお越しください

[Facebook](#) [Twitter](#) @eco_zou
